

# 一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

## 2013 年度第 3 回（通算第 18 回）理事会 議事録

1. 開催日時：2013（平成 25）年 9 月 29 日（日） 11：00～12：05
2. 場 所：横浜ラポール 2 階 応接室

### 3. 審議事項および資料

- 第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる報告
- 第 2 号議案（専権等の報告）総務業務執行報告
- 第 3 号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）
- 第 4 号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について
- 第 5 号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について①
- 第 6 号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について②
- 第 7 号議案（専権等の報告）展示会出及びセミナー開催について
- 第 8 号議案（専権等の報告）東日本大震災復興支援に関する専門委員会 委員の承認について
- 第 9 号議案（決議）新入会者の承認について
- 第 10 号議案（決議）協会顧問の委嘱について
- 第 11 号議案（決議）東日本大震災復興支援に関する専門委員会 設置期間の申請について
- 第 12 号議案（決議）専門委員会設置規則の改正について
- 第 13 号議案（専権等の報告） AAATE において公開書簡に調印した件

### 4. 理事総数 15 名

出席理事数 10 名

- 会長（代表理事） 繁成剛
- 副会長 相良二郎
- 理事 沖川悦三、金井謙介、剣持悟、鈴木聖貴、高原光恵、畠中規、  
水澤二郎、宮野秀樹
- 監事 井上剛伸
- 事務局 深野栄子
- 欠席理事 岩崎満男、元田英一、塚田敦史、古井透、山形茂生
- 欠席監事 井村保

### 5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第 49 条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の剣持悟と相良二郎の 2 名を選出した。

### 第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、第 1 回の理事会以降に承認された 7 月 22 日～8 月 13 日、8 月 14 日～9 月 13 日までの計 17 名（内 5 名は 2012 年度下半期入会扱い）の入会が報告された。

## 第2号議案（専権等の報告）総務業務執行報告

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（7月1日～9月28日）が報告された。  
なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

### ■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 役員選挙を実施し、最終役員候補者15名、監事候補者2名を確定した。
- ・ 定時社員総会において、第7号議案を決議し、承認された。

### ■ 理事会・総会担当

- ・ 2013年度第3回法人理事会の準備および開催

### ■ 財務担当

- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備（前年度に団体・法人を統括した財務管理・諸表を基盤にして、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を実施）

### ■ 広報・渉外担当

- ・ 「兵庫県立福祉のまちづくり研究所創設20周年式典・シンポジウム」（平成25年11月9日）の新規後援依頼について検討し、理事への意見収集のうえ、後援として専権行使した。
- ・ 「介助犬のひろば in 大東」（2013年12月7日；主催：川村義肢株式会社・社会福祉法人日本介助犬協会・大東市総合文化センター）の新規後援依頼について検討し、理事への意見収集中である。

## 第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（7月1日～9月28日）が報告された。  
なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

### ■ カンファレンス担当

- ・ 第30回リハ工学カンファレンスの準備：前回の調整会議の議論を踏まえて開催地候補の実行委員を募集、声かけ等を行った。
- ・ 第28回（岩手）のカンファレンスが無事終了した。

### ■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト2013
  - ・ 第一次選考会 於：横浜市総合リハセンター（7/13）
  - ・ 第二次選考会 於：於：リハ工学カンファレンス会場（アイーナ盛岡、8/23）
  - ・ 発表：第40回国際福祉機器展HCR2013 会場内（9/18-20、表彰式9/20）

### ■ 協会誌担当

- ・ 協会誌Vol.28 No.3の発行（8/1以降会員に配布）

### ■ 分科会・委員会担当

- ・ 支部新設の推進、既設の支部への活動支援：九州・沖縄・山口支部の新設
- ・ SIGとの協力関係の推進及び活動支援：SIG代表者会議を開催し、情報共有と意見収集を行った。

### ■ 企画担当

- ・ H.C.R.2013ワークショップにて、リハビリテーション工学基礎講座【難病患者の社会参加と支援技術】を開催した（参加62名）。

### ■ 国際担当

- ・ iCREATe2013への対応（アジア連携）報告
  - ・ 基調講演にて「超高齢社会の日本におけるリハ工学」と題して当協会の活動をシリントンタイ王国王女の御前にて報告した。（8/29）
  - ・ RESKO、TREATS、START Centre（シンガポール）、NECTEC（タイ王国）、香港作業療法士協会の代表者がパネラーとなる特別セッションに参加した。（8/30）
  - ・ SDC（Students Design Challenge）の審査委員も依頼された。

## ■その他

- ・ HCR 出展に係る連絡調整および展示、ワークショップの開催
- ・ 西日本国際福祉機器展出展に係る手続き及び連絡調整
- ・ 業務執行報告書提出の指示および取りまとめ

### 第4号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

- ・ 協賛3件 後援1件2

### 第5号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について①

広報・渉外担当の塚田理事より、前回の理事会以降で、新規依頼であるが内容から特に問題はないと判断し、2013年9月3日から10日まで理事からの意見収集の上、専権事項として承認回答した後援依頼についての報告がされた。

- ・ 2013/09/10 後援 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター・福祉のまちづくり研究所：「兵庫県立福祉のまちづくり研究所創設 20周年式典・シンポジウム」(2013/11/09)

### 第6号議案（専権等の報告）新規後援依頼の受諾について②

広報・渉外担当の塚田理事より、前回の理事会以降で、新規依頼であるが内容から特に問題はないと判断し、2013年9月13日から20日まで理事（利害関係者の鈴木理事、剣持理事を除く）からの意見収集の上、専権事項として承認回答した後援依頼についての報告がされた。

- ・ 2013/09/20 後援 川村義肢株式会社・社会福祉法人日本介助犬協会・大東市総合文化センター：「介助犬のひろば in 大東」(2013/12/07)

### 第7号議案（専権等の報告）展示会出展及びセミナー開催について

事業統括担当の金井理事より、事業計画に基づき、今年もHCR2013及び西日本国際福祉機器展へのブース出展申込およびセミナーの企画を行ったことが報告された。

#### 1) HCR2013 (9/18-20)

- ・ HCR2013にて2小間のブース出展を行い、協会広報および福祉機器コンテスト2013入賞作品の展示等を行った。
- ・ 出展社プレゼンテーション1において、「難病患者の社会参加と支援技術」（講師：井村保氏）と題したセミナーを9/18（13:30-14:30）を開催し、62名の受講者が熱心に参加された。
- ・ 9/20（13:30-14:30）に福祉機器コンテスト2013表彰式を開催した。

#### 2) 西日本国際福祉機器展 ppc2013 (11/22-24)

- ・ 4小間のブース及びセミナーの枠も提供していただけることとなった。
- ・ 内容は以下の2セミナー&1ツアーに決定した。  
「リハ工学ディスカッション～ファッションナブルに生きるための車いすや乗りもの～」(講師：小林博光氏、岩崎満男氏、岡野善記氏)  
「車いす座位の不良姿勢をすっきり整えるテクニック～あなたとワタシの腰痛予防～」(講師：山形茂生氏)  
ツアーは小林氏が受講者を各ブースに案内し、福祉用具の選び方や見方などを解説するものである。

### 第8号議案（専権等の報告）東日本大震災復興支援に関する専門委員会 委員の承認報告について

分科会・専門委員会担当の岩崎・高原理事、専門委員会委員長の沖川理事より、東日本大震災復興支援に関する専門委員会活動を積極的、かつ効率的に推進するために委員長より提案のあった下記の方々を専門委員として承認したことが報告された。この理事会報告の後、就任依頼を送付予定である。

(敬称略)

- 沖川悦三 (当委員会委員長)
  - 川村 慶 (川村義肢株式会社、P O) : 大阪
  - 森田千晶 (杏林大学、O T) : 東京
  - 山田浩望 (特定非営利活動法人ハーツ生活支援、介護職) : 盛岡
  - 巴 雅人 (有限会社 車座、エンジニア) : 仙台
  - 吉田泰三 (学校法人東北文化学園大学東北文化学園専門学校、教員・S W) : 仙台
  - 藤本慶秀 (パシフィックサプライ株式会社、営業職) : 仙台
  - 佐藤遼太郎 (一般財団法人 太田綜合病院附属太田西ノ内病院、O T) : 郡山
  - 糟谷佐紀 (神戸学院大学、教員・建築)
  - 深野栄子 ((一社) 日本リハ工学協会 事務局)
- ※ ○印は代議員

#### 第9号議案 (決議) 新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、2013年度第1回(通算第16回)理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会まで新入会希望者がいなかったため議案取下げとした。

#### 第10号議案 (決議) 協会顧問の委嘱について

総務統括担当の鈴木理事より、理事会が新体制となり、引き続き顧問として田中理氏を推薦したいと提案があり、満場一致で承認された。推薦根拠として、長きにわたりリハビリテーション工学協会の会長としてリハビリテーション工学の普及発展に務め、また一般社団法人の初代代表理事として設立に携わった経験を活かし、これからの公益法人化にむけて助言いただきたいという理由が挙げられた。なお任期は理事会承認後2015年度社員総会終結時とする。

承認9、非承認0

- ・ 任期は2015年度社員総会終結時までとし、その直後の理事会において、必要に応じ選任することができる。

#### 第11号議案 (決議) 東日本大震災復興支援に関する専門委員会 設置期間の申請について

分科会・専門委員会担当の岩崎・高原理事、専門委員会委員長の沖川理事より、2011年4月13日に東日本大震災復興支援に関する専門委員会活動を立ち上げ、2年間の支援活動をおこなってきた。しかし、2013年度現在、東北の被災地は復興に向かって動いてはいるものの、沿岸部を中心にまだまだの状況であるため、当協会の復興支援活動を継続し、2年間の期間延長(2013年7月1日から2015年6月30日までの2年間)が提案された。委員会設置規則第8条「専門委員会が設置申請時の設置期間を超えて専門委員会を設置する場合は、委員長は当該期間が終了する1ヶ月前までに、延長する期間とその理由を記した書面にて、担当理事を通して当法人理事会へ申請しなくてはならない。」とあるため、第8号議案の委員会委員構成での新設申請とし、審議の結果、満場一致で承認された。

承認9、非承認0

#### 第12号議案 (決議) 専門委員会設置規則の改正について

分科会・専門委員会担当の岩崎・高原理事より、専門委員会設置規則の第4条2項の「原則として、専門委員会の構成員の過半数は当法人の社員である個人でなくてはならない」という部分について、原則としてではあるが、より実際の運用に適した構成員で活動しやすくなるよう「社員」を「正会員」に変更する改正案が提示された。次回理事会で規則選挙担理事より当条項の新旧対照表を提示した上で再度議案提出することとし、継続審議とされた。

第13号議案（専権等の報告）AAATEにおいて公開書簡に調印した件

国際担当の畠中理事より、現地時間9月18日にポルトガルのヴィラモウラにて開催されたAAATE（リハ工学協会）総会において、同協会主導で作成された、国連事務総長および国連議長あての公開書簡に、前国際担当理事の大鍋壽一氏が会長代理として参加し署名した公開書簡原文（コピー）が提示された。本書簡は現地時間9月23日に行われた、国連のハイレベル協議の参加者への強い支持を表明したもので、障害者のための様々な長期的施策を国連の重要課題として位置づけるよう要望したものである。書簡には欧州リハ工学協会、北米リハ工学協会、ラテンアメリカリハ工学協会、豪州リハ工学協会、および日本リハ工学協会の5名が署名し提出された。この書簡調印までの経緯につき専権報告とした。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2013（平成25）年度第3回（通算第18回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（12時05分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2013年9月29日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成25年度第3回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 剣持 悟

議事録署名人 相良 二郎